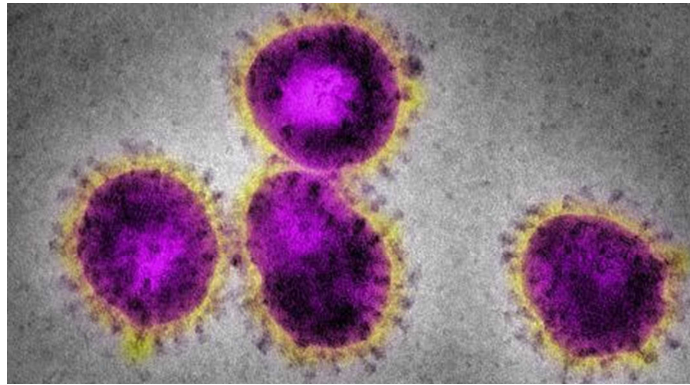


新型コロナウイルス感染症

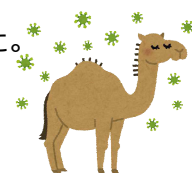
(SARS-COV-2)



2019年12月、中国の武漢市で原因不明の肺炎が発生しました。原因を調べた結果、新型コロナウイルスである事が明らかになりました。新たに出現したウイルスに対しては誰も免疫を持っておらず、世界的な大流行（パンデミック）となってしまいました。日本政府も感染の拡大を抑えるため、学校の休校や職場の時間短縮等を要請するなどの取り組みをしています。科学的に根拠のない推測やデマも多く、確かな情報を冷静に見極める事が重要です。

このお騒がせなコロナウイルス自体は、決して珍しいものではありません。ペットの犬やネコに感染するコロナウイルスもいます。人間に感染するコロナウイルスは、これまでに6種類が報告されていました。このうち4種類は感染しても風邪程度の軽い症状で済みますが、残りの2種類は重症化する事があります。その1つは2003年に中国で発生した重症呼吸器症候群（SARS）のウイルスです。約8000人が発症し、800人程が亡くなりました。つまり致死率は10%です。しかし、このSARSウイルスは今ではどこを探

しても見つからず、消えてしまったと考えられています。コウモリからウイルスの感染を受けたハクビシンを飼ったり、食べる事を止めれば終息しました。残りの1種類は2012年にサウジアラビアで発生した重症の肺炎、中東呼吸器症候群（MERS）です。致死率は30～40%と非常に高いものでした。MERSはコウモリから感染したラクダから濃厚接触したヒトへ感染したものが判った事から、ラクダとの接触が避けられない地域では2500人程の感染者が確認されながらも現在も少数ではありますが感染は続いています。過去のコロナウイルス感染症の経験から私たちは様々な知識を得る事が出来ました。



この新型ウイルスは感染した呼吸飛沫の吸入を介して、ヒトからヒトへ感染します。約12時間（布地やダンボール）～72時間（金属表面）は体外で生きています。感染対策はマスク着用と手洗いが基本で、ヒトとヒトとは2m以上の距離を置く事。まさに東京都の小池都知事のキャッチフレーズは絶妙に感染対策を表しています。

『3つの密を避ける』。

さらにワクチン接種が本格的に始まりだしました。



2021年6月の感染者報告では、ワクチンの先行接種をした東京都の医療従事者の感染者数は1月525人、5月47人と確実に減少し、全感染者に占める割合も下がっており、専門家は3月から本格化したワクチン接種効果とみています。トンネルの出口が見えた様な思いです。『ウイルス感染症は必ず克服出来る！』何故なら、かつて我々は長らくB型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスと戦い、打ち勝って来た経験があるからです。

おおしみクリニック おおしみ つねよ
大海 庸世

お問い合わせ先：岡山県津山市こども保健部健康増進課

TEL 0868-32-2069